

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2000-346884(P2000-346884A)

【公開日】平成12年12月15日(2000.12.15)

【出願番号】特願2000-107008(P2000-107008)

【国際特許分類】

| | | |
|----------------|--------------|------------------|
| G 0 1 R | 21/10 | (2006.01) |
| G 0 1 N | 22/00 | (2006.01) |
| G 0 1 R | 29/08 | (2006.01) |
| G 0 1 R | 15/08 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|----------------|--------------|----------|
| G 0 1 R | 21/10 | |
| G 0 1 N | 22/00 | U |
| G 0 1 R | 29/08 | Z |
| G 0 1 R | 15/08 | Z |

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月2日(2007.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ダイオードマイクロ波電力センサであって、

インピーダンス整合終端回路を含み信号を受信する手段と、

受信した信号の電力レベルを測定するための二乗則領域内で動作するセンサダイオード手段と、

より低い電力レンジの信号のための第1の経路と、前記第1の経路よりも大きな減衰作用を有する、より高い電力レンジの信号のための第2の経路とを有する切換形減衰器手段と、

を備え、

前記切換形減衰器手段が、前記受信した信号の電力レベルがより低い電力レベルにある場合は前記受信した信号を前記第1の経路を通して前記センサダイオード手段へと伝達し、前記受信した信号の電力レベルが前記より低い電力レベルの範囲を越えている場合は前記信号を前記第2の経路を通して前記センサダイオード手段へ伝達し、これにより前記センサダイオード手段が、二乗則領域内で動作し、前記受信した信号の電力レベルを測定するようにしたことを特徴とするダイオードマイクロ波電力センサ。

【請求項2】

前記センサダイオード手段が、前記受信した信号の電力レベルを測定するためのセンサダイオード対を含むことを特徴とする請求項1に記載のダイオードマイクロ波電力センサ。

【請求項3】

前記より低い電力レベルの範囲が約-70dBmから-20dBmの間であることを特徴とする請求項2に記載のダイオードマイクロ波電力センサ。

【請求項4】

前記第1の経路が0dB減衰に近く、前記第2の経路が約40dB減衰であることを特

徴とする請求項 3 に記載のダイオードマイクロ波電力センサ。

【請求項 5】

前記第 1 の経路が 0 dB 減衰に近く、前記第 2 の経路が約 25 dB 減衰であり、そして約 50 dB 減衰の第 3 の経路を含むことを特徴とする請求項 3 に記載のダイオードマイクロ波電力センサ。

【請求項 6】

前記切換形減衰器が、前記センサダイオード手段を校正するための校正信号を受信する手段を含むことを特徴とする請求項 3 に記載のダイオードマイクロ波電力センサ。